



企業理念

Mission（使命）

最上質な商品・サービス・技術を、
感謝の心を込めて提供し、
“夢”と“感動”あふれる『クルマのある人生』を創ります。

Values（価値観）

感謝の心 “Thanks”	謙虚さと思いやりの気持ちを胸に、すべてに感謝の心で接します。
上質 “High Quality”	自己研鑽を積み重ね、おもてなしの心で、期待を超える満足と感動を提供します。
変革 “Innovation”	変化を先取りし、自由闊達に、新たな価値の創造に挑戦します。
情熱 “Passion”	会社と仕事に愛情と誇りをもち、最後までやり遂げる強い意志を貫きます。
信頼の輪 “Trust”	高い倫理観と遵法精神をもち、働く仲間を敬い、人の和を広げ、心豊かで幸せな社会の実現に貢献します。

社長メッセージ

お客さまへの感謝の心を、 これからも大切にしていきます

ヤナセは、「最上質な商品・サービス・技術を、感謝の心を込めて提供し、“夢”と“感動”あふれる『クルマのある人生』を創ります。」を企業理念に掲げています。現在、自動車の電動化・自動化など自動車産業を取り巻く環境は急激な変革を遂げようとしていますが、1915年の創業以来、当社が最も大切にしているのは「お客さまへの感謝の心」です。

私たちが無上の喜びを感じる瞬間、それは、通り過ぎる輸入車の後部に貼られた「ブルー & イエロー」のヤナセステッカーを目にしたときです。そのクルマにお乗りのお客さまに「ありがとうございます」と、心の中で感謝の意を表しています。そして、ヤナセの100年を超える長い歴史と伝統の中で培ってきた“お客さまとの信頼の輪”をさらに太く・強くするため、当社は変化を先取りした新たな価値の創造を通じて、さらに上質なカーライフを社会に提供することに不断の挑戦をしていきます。

ヤナセは今後も、お客さまへの感謝を胸に「豊かなカーライフ」の実現を目指し、日本国内で300拠点を超えるネットワークを駆使して、より充実したサービスを提供してまいります。引き続きのご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員

吉田 多孝



バリューチェーンを通じて、新たな価値を提案し続けています

ヤナセは、「新車販売」「中古車販売」「アフターセールス」「金融保険」の4つの事業を通じて、お客さまの“豊かなカーライフ”のサポートを目指しています。そして、カーライフに多彩な価値をご提供する「バリューチェーン」を推進することで、お客さまとのゆるぎない信頼関係を永続的に築いていきます。



新車販売事業



アフターセールス事業



信頼と安心の証



累計新車販売台数
200万台
達成

ヤナセでは販売するクルマのリアウインドウなどに、ブルー&イエローの「YANASE」のロゴステッカーを貼っています。これは、お客さまのクルマがトラブルに遭った万一のときに、それに気付いたヤナセのスタッフがお声掛けできるようにするためのものです。ブルーは「自然を愛し、より豊かなゆとりある社会を目指す」という企業姿勢を、イエローはヤナセの「未来への限りない可能性」を象徴しています。

中古車販売事業



金融保険事業



全国のお客さま





新車販売 事業

世界のクオリティを選ぶ楽しみ、
体感する喜びをご提供。

お客さま一人一人のご要望に沿った
喜びあふれるカーライフを
ご提案します

新車販売事業の使命は、お客さまに
寄り添い、お客さま一人一人のご要望
に沿った、安全で楽しく乗れるクルマ
をご提案することです。そして、ご購入
後も適宜適切なフォローを通じて
“お客さまにとっての満足”を実現し、
お客さまとの信頼関係を築くことを
目指しています。大切なお客さまに、
喜びあふれるカーライフをお届けし
たい。その一心でスタッフは日々研鑽
を積み、ショールームでお客さまをお
迎えしています。

「信頼できるパートナー」を目指して セールススタッフ

ヤナセのセールススタッフが目指しているのは、お客さまとの一時的なお付き合いではなく、10年、20年、30年と長期にわたって信頼関係を築いていくことです。「ヤナセは、取り扱う車もスタッフも一流。だから信用できる」。こうした評価を頂けるよう、商品知識や接客マナーはもちろん、教養、経験、人間的魅力を磨き、お客さまにとって「信頼できるパートナー」になれるよう努めています。



心地よい時間をお客さまに ショールーム

ヤナセは、世界のプレミアムブランドを取り扱っています。そのブランドの世界観を具現化したショールームで、心地よい時間を過ごしていただきたいと願っています。そして、ご来店いただいたお客さまに感謝の心を込めてお出迎え・お見送りをすることで、「また訪れたい」と思っただけの空間づくりを心掛けています。



中古車販売 事業

世界のプレミアムブランドをより身近に、
安心してご購入いただける仕組みを構築。

ヤナセならではの安心感を強みに
かけがえない一台をご提供します

ヤナセは1967年、日本で初めて輸入
車中古車に品質保証制度を導入しま
した。また、広大な中古車展示場やご
希望の車種を検索できるウェブサイ
トを通じて、多くのお客さまに世界の
プレミアムブランドを身近に感じてい
ただくことを目指しています。現在は、
「ヤナセ認定中古車」「メーカー認定
中古車」の2つのカテゴリで高品質
な中古車を販売。同じ種類、同じ品質
の中古車は二台としてなく、一台一台
の価値は異なります。そうした、かけ
がえない一台をお客さまにご提供
し続けていきます。

徹底した品質管理と充実の保証 認定中古車

ヤナセがご提供する「ヤナセ認定中古車」と「メーカー
認定中古車」は、いずれも厳しい点検・整備プログラム
をクリアした高品質な中古車のみをそろえています。
また、日本最大級の商品数を誇るヤナセ認定中古車展示場「ヤナセブランドスクエア」の
ほか、「メルセデス・ベンツ サークティファイドカー センター」をはじめ各メーカーの専用展
示場や新車販売拠点で販売。幅広い選択肢の中から最良の一台をお選びいただけます。



お探しのクルマをスピーディに検索 認定中古車検索サイト

ヤナセでは、独自の認定中古車検索サイト「yanase.
jp」を運営。地域、メーカー、価格帯、ボディタイプ、カ
ラーなど、詳細な条件でお探しのクルマをスピーディ
に検索できます。



輸入車流通の活性化のために オートオークション

ヤナセは2020年にオークション事業に参入し、輸入車専門オートオークションを東西の
2会場で運営しています。そして、一層豊富に取りそろえた輸入車中古車を、卸売を通じて
広くお客さまにご提供しています。



アフター
セールス事業

安心と感動をもたらす
世界水準の技術サービスを。

「お客さまの安心」のために
常に向上心を持って
技術を磨いています

ヤナセは、全国に有するサービスネットワークを活用して、どこにいてもお客さまをサポートできる環境を実現しています。また、高度化する技術に対応するため、サービススタッフは専門的なトレーニングを実施。「国家一級小型自動車整備士」の資格取得者も多数在籍し、メーカー主催のサービス技術コンテストでは世界大会に出場するなど、その技術力は高く評価されています。お客さまに安心して愛車をお任せいただき、「期待以上の感動」をご提供できるよう、常に技術を磨いています。

独自の検定で技術力・接客対応力を向上
サービススタッフ

ヤナセのアフターサービス部門には、幅広い技術と知識を習得して点検・整備を行う「メカニック」、点検・整備のご案内やカーライフサポート商品のご提案、点検・整備後のアフターフォローを担当する「サービスアドバイザー」、パーツ・アクセサリーの仕入れや供給を担う「パーツ担当」、見積もり作成や保証業務などを行う「クラーク」といった、専門的なトレーニングを受けたサービススタッフが所属。お客さまが常に最良のコンディションで愛車にお乗りいただけるよう努めています。



輸入車アフターマーケットをトータルサポート
板金・塗装、パーツ外販

BP（ボディリペア&ペイント：板金・塗装）事業では、グループ会社の直営工場や協力工場を全国に設置。自動車メーカー認定工場として、溶接資格トレーニングなどを受けた「BPメカニック」が修理を実施しています。また、塗装部門は環境に配慮した水性塗料をいち早く導入。損害保険会社の提携工場としても、多くのボディ修理を担当しています。そして、部品事業では約6万品目の輸入車純正部品を管理。全国エリアセンターの「パーツ外販担当」が、修理工場にパーツ・アクセサリーを供給しています。



金融保険
事業

ずっと安心していただくために
生活全般をサポート。

ヤナセならではの付加価値を
ライフスタイルに合わせて
ご提供します

ヤナセは金融保険商品を通じて、自動車の販売から始まるお客さまとの関係性をカーライフだけでなく生活全般へと広げています。そして、お客さまとの関係維持・ブランド価値の向上を目指しています。また、ヤナセグループの保険専門代理店では、火災保険やゴルフ保険などの損害保険、ペット保険、生命保険なども取り扱い、知識豊富な保険アドバイザーが一人一人に合った保険選びをサポートします。

ヤナセ独自の特典をご用意
メンバーズカード



ヤナセメンバーズカードは、＜ヤナセ＞UCメンバーズカード、＜ヤナセ＞アメリカン・エクスプレス・カード、＜ヤナセ＞NICOSメンバーズカードの3種類。全国のヤナセネットワーク拠点や各カード会社加盟店でご利用いただけるほか、さまざまな特典をご用意しています。

万一のときも安心をお届け
自動車保険



ヤナセでは、お客さまのニーズに合った自動車保険をお勧めしています。ご契約時や万の際にも、初期対応から事故受付、保険請求、車両修理まで一貫して対応。さらに、ヤナセグループで自動車保険をご契約いただいたお客さまには、独自のサービス「ヤナセワンナップクラブ」を無償で付帯するなど、サポート体制も充実しています。

商品購入時に幅広い選択肢を
オートローン

ヤナセオートローンは、少ない回数から長期にわたるお支払いにも対応。お客さまのライフプランに合わせて最適な支払期間をお選びいただけます。また、車両価格の最大50%を据え置ける残価据置型の「マイスタイル」、毎月の支払額やボーナス加算額をお客さまが自由に設定できる「ステップ&フレックス」など、豊富なローンプランをご用意しています。

※信販会社により取り扱いのローン商品が異なります。

お客さまの豊かなカーライフを支え続けるために、 充実のサービスをご提供します。

カーライフの楽しさを広げるお手伝い

エンジンオイル

ヤナセでは、モービルのエンジンオイルを採用。ヤナセとモービルのプロフェッショナル同士が手を組み、お客さまのお車に最適なオイルメンテナンスをご提供します。

※自動車メーカーにより、推奨するエンジンオイルは異なります。



タイヤ

ヤナセでは、タイヤメーカーが車の開発段階から関わり、その車のために開発された純正装着タイヤをお勧めしています。安全システムや乗り心地、環境性など、車に求められるさまざまな性能を高次元で満たします。



パーツ&アクセサリ

メーカー純正パーツ&アクセサリ、ヤナセオリジナルパーツやリサイクルパーツなどを多数取りそろえています。また、全国のヤナセネットワーク拠点での販売だけでなく、アフターマーケットにも供給しています。



カーケアシステム

ボディの汚れを防ぎ美しく保つ「ヤナセミラーフィニッシュプレミアム」、金属モールの劣化や腐食を抑える「ヤナセメタルガード」、シートを汚れや傷から守る「ヤナセシートガード」など、愛車の外装や内装の保護を目的とした14種類のサービスメニューをご提供しています。



カーケアシステム

福祉車両

ヤナセでは「バリアフリーな輸入車で、車のある人生をもっと長く」を掲げ、いつまでもスタイリッシュに乗り続けたいお客さまに福祉車両をご提供します。



「片アーム式車いすリフト」を装着したメルセデス・ベンツ「Vクラス」

ヤナセ クラシックカー センター

ヤナセ クラシックカー センターでは、幅広い年代の旧車を修復・復元。お客さまからのレストアの依頼を受け付け、最善の方法で「乗って楽しむクラシックカー」をご提供します。

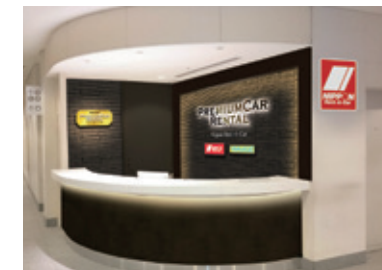


輸入車レンタカーを全国展開

「ヤナセ プレミアムカー レンタル」

2017年に本格始動し、全国47都道府県のニッポンレンタカー営業所でレンタル可能になりました。2016年12月のヤナセ プレミアムカー レンタル ブランドアイデンティティ採用1号店「東京駅丸の内営業所」に続き、2017年12月には新千歳空港近郊に「プレミアムカーレンタル千歳」をオープン。現在は約500台のレンタカーを全国に配備しています。これからもお客さまにワンランク上の旅をお楽しみいただくため、ニッポンレンタカーとコラボレートし、プレミアムカーのレンタルサービスを提供していきます。

「ヤナセ プレミアムカー レンタル」ブランドアイデンティティ採用店



ニッポンレンタカー 東京駅丸の内営業所

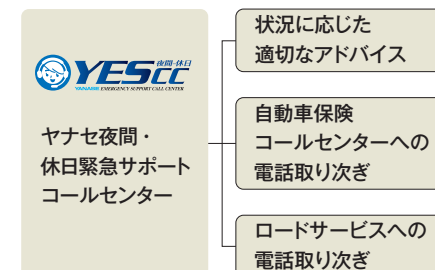


ニッポンレンタカー プレミアムカーレンタル千歳

夜間・休業日のサポート

ヤナセ夜間・休日緊急サポート コールセンター

ヤナセ拠点の営業時間外や休業日に、お客さまのお車に事故・故障などのトラブルが発生した際、コールセンタースタッフがサポートします。



お客さまとのコミュニケーション

コミュニケーション誌 「ヤナセライフ」

「ヤナセと共に人生の喜び、愉しみを感じていただきたい」という願いから、コミュニケーション誌「ヤナセライフ」(YANASE LIFE)を年6回発行。旅・食・音楽・車などをテーマに、美しい写真やイラストを交えた多彩な情報をお届けしています。また、全国のお客さまに誌面にご登場いただくことで、お客さまとヤナセの絆を深める役割も担っています。



テレビCMを企画制作 株式会社ティ・シー・ジェー (TCJ)

グループ会社である「TCJ」は、テレビ創世記に創業した国内では最も古い歴史を持つTV-CMプロダクションです。歴史と信頼を軸に、常に時代を捉えた映像制作により、これまでに多くの広告賞を受賞してきました。これからも映像制作を通じて社会に情報を発信し、目には見えない「信頼」という付加価値をご提供し続けることが、TCJの使命だと考えています。



ヤナセ企業CM
「ヤナセ プレミアムカー レンタル篇」

世界が誇るプレミアム



メルセデス・ベンツ



スマート



BMW



アウディ



フォルクスワーゲン



ポルシェ



キャデラック



シボレー

社会貢献や各種活動支援など さまざまな活動を推進しています。

仙台市「ふるさとの杜再生プロジェクト」に参加

東日本大震災で甚大な被害を受けた東北地方の復興支援として、「ふるさとの杜再生プロジェクト」に参加しています。このプロジェクトは、杜の都・仙台の復興シンボル事業の一つとして、市民・NPO・企業などが協力して東部沿岸地域の緑を再生するもの。2016年3月、同市宮城野区の海岸公園内に設けられた広さ約2,000m²の「ヤナセの杜」で記念植樹を実施。その後も植樹イベントに参加し、プロジェクトを盛り上げています。



日本赤十字社などへの社会貢献活動

ヤナセは2010年から、当社オリジナル防災キットの年間販売金額の一部を日本赤十字社に寄付しています。2020年にリニューアルした「ヤナセ帰宅支援キット」は、外出先で災害に遭遇した際に車を駐車し、自宅や近隣の避難所まで徒歩でたどり着くことを想定して開発しました。そのほか、2015年には日本赤十字社に訪問看護車両・車いすを寄贈。公益財団法人 交通遺児育英会と宮城県仙台市「ふるさとの杜再生プロジェクト」には寄付を実施しました。



ヤナセ帰宅支援キット

スポンサー契約で活動を支援

2014年3月に、プロゴルファーの宮里優作選手とスポンサー契約を締結。宮里選手のスポーツマンシップや挑戦し続けるプロ選手としての姿勢に共感し、活動を支援しています。ヤナセは、宮里選手の名前・肖像を使った広告／プロモーション活動の権利を獲得し、宮里選手はYANASEロゴをキャップに付けてツアーに参戦。また、ヤナセの全国ネットワークを活用して国内ツアーでの移動車両を提供しています。



2017シーズン賞金王獲得記念 車両贈呈セレモニー

「ヤナセ・プロ野球MVP賞」を実施

ヤナセは、プロ野球の2球団を対象に、シーズンを通じて最も活躍した選手にメルセデス・ベンツを贈呈しています。この賞は、スポーツを通じた明るく健全な社会の実現と、野球界のさらなる発展をサポートするため、1984年にスタート。選手の士気向上によるベナントレースの活性化に加え、表彰対象球団を応援するお客さまとの交流を深めることを目的に実施しています。



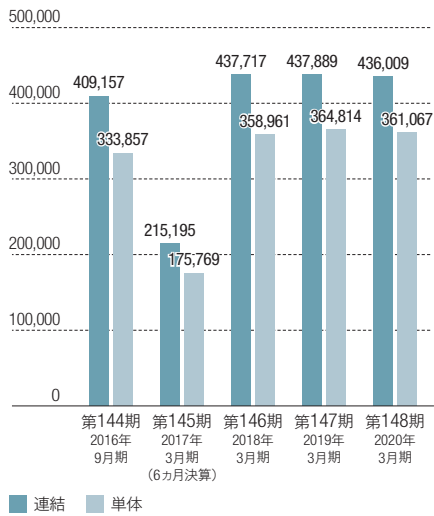
2019ヤナセ・プロ野球MVP賞(読売巨人軍)

概要

社名	株式会社ヤナセ	拠点数	190拠点（2020年4月1日現在）
設立	1920年1月27日（創業：1915年5月25日）	（グループ）	249拠点（同上）
資本金	6,975,872,000円	本社	〒105-8575 東京都港区芝浦一丁目6番38号
決算期	3月	ヤナセ オフィシャルサイト	https://www.yanase.co.jp
発行済株式総数	47,260,000株		
株主数	421人（2020年3月31日現在）	Instagram	https://www.instagram.com/yanase_official
従業員数	4,040人（2020年4月1日現在）		
（グループ）	5,201人（同上）	Facebook	https://www.facebook.com/yanase.official

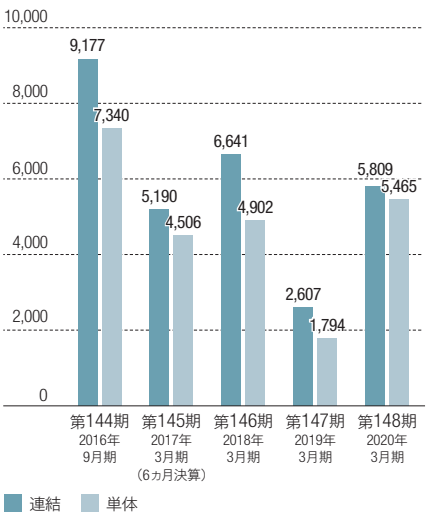
売上高推移

（単位：百万円）



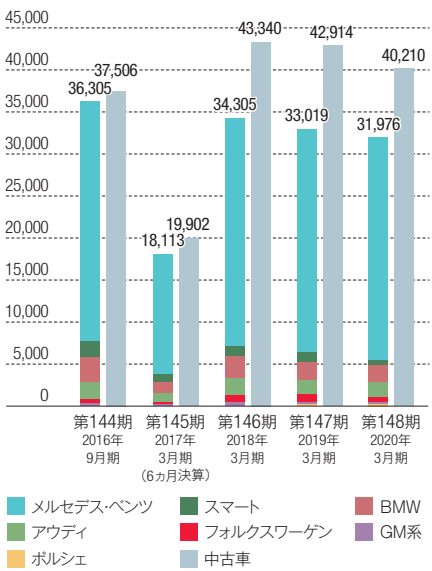
経常利益推移

（単位：百万円）



車両販売台数推移（連結）

（単位：台）



ヤナセ関係会社

ヤナセ バイエールン モーターズ株式会社 〒105-8575 東京都港区芝浦一丁目6-38	ヤナセプレストオート株式会社 〒813-0044 福岡県福岡市東区千早四丁目14-8	株式会社ティ・シー・ジェー 〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目18-11 銀座SCビル
株式会社ヤナセグローバルモーターズ 〒105-8575 東京都港区芝浦一丁目6-38	株式会社ヤナセオートシステムズ 〒224-0044 神奈川県横浜市都筑区川向町1117	株式会社ヤナセエキスパートサービス 〒224-0044 神奈川県横浜市都筑区川向町1117
ヤナセ ヴィークル ワールド株式会社 〒105-8575 東京都港区芝浦一丁目6-38	株式会社ヤナセインシュアランスサービス 〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目12-3 Daiwa芝浦ビル	株式会社ジップ 〒650-0045 兵庫県神戸市中央区港島一丁目4-6
ヤナセ オートモーティブ株式会社 〒105-8575 東京都港区芝浦一丁目6-38	株式会社ヤナセウェルサービス 〒105-8575 東京都港区芝浦一丁目6-38	

1915

1915年
(大正4年) 梁瀬長太郎の個人経営による「梁瀬商会」（当社の前身）が日比谷に創立。ビュイック、キャデラックの販売開始 ❶
米国バルボリン社製 礮油類の輸入販売開始



創業者 梁瀬長太郎

1920

1920年
(大正9年) 梁瀬自動車（株）設立（資本金500万円）
梁瀬商事（株）設立（礮油類の輸入販売部門を分離独立、資本金100万円）
シボレーの販売開始

1922年
(大正11年) エンジンなど全てを自前で製作した記念すべき純国産車「ヤナセ号」が完成 ❷



1927年
(昭和2年) GM社との代理店契約を破棄
フィアット、スチュードベーカー、アースキン、レオトラックなどの全日本販売権を獲得 ❸



1930

1930年
(昭和5年) 梁瀬商事（株）を合併
1931年
(昭和6年) GM社との販売契約を再び締結、ビュイック、キャデラックの販売再開 ❹



販売再開を記念して「東京オートショウ」を開催

1932年
(昭和7年) 礮油部門を分離（1926年設立の日本フィアット（株）が梁瀬商事（株）に社名変更、同時に礮油部門を同社に移譲）

1937年
(昭和12年) ポンテアックの輸入販売開始

1939年
(昭和14年) 自動車の輸入中止に伴い、営業の基幹を工業部門に転換
芝高浜町（現、港南1丁目）に高浜工場建設

1940

1940年
(昭和15年) 梁瀬式天然ガス装置の製造・販売開始（日華事変進展に伴うガソリン不足に対応し開発、東京の自動車の80％がこの装置を使用） ❺



天然ガス燃料車のテスト走行の様子

1941年
(昭和16年) 社名を梁瀬自動車工業（株）に変更
梁瀬商事（株）、社名を梁瀬実業（株）に変更し、天然ガス、液化ガスの製造・販売に事業の主体を転換

1945年
(昭和20年) 社名を梁瀬自動車（株）に復帰

1946年
(昭和21年) 梁瀬実業（株）、社名を梁瀬商事（株）に復帰

1947年
(昭和22年) オリエントオート三輪車、たま電気自動車など国産車の販売開始

1948年
(昭和23年) GM社製自動車全車種の販売権を再び許与され、輸入販売を再開

1949年
(昭和24年) 戦後初の輸入車入荷 ❻
シボレー、ポンテアック、オールズモビルの販売権を他社へ移譲
ボックスホールおよびベッドフォードの東日本地区販売権を獲得



横浜港に陸揚げされた戦後初の輸入車

1950

1950年
(昭和25年) ウエスタン自動車（株）設立
パッカードの西日本での販売開始

1952年
(昭和27年) メルセデス・ベンツの販売開始 ❼



1953年
(昭和28年) フォルクスワーゲンの販売開始

1954年
(昭和29年) 梁瀬商事（株）、米国クロスフィールド・プロダクツ社の塗床材デックス・オ・テックスの日本総代理店となる

1957年
(昭和32年) プリンスの販売開始
梁瀬商事（株）、大阪金属工業（株）（現、ダイキン工業（株））の代理店となる

梁瀬商事（株）、米国ウエスティングハウス社（現、ホワイト・ウエスティングハウス社）製各種家庭電気製品の販売権獲得 ❽
梁瀬商事（株）、英国アラジン社製オイルヒーター、オイルランプなどの日本総代理店となる



1958年
(昭和33年) 梁瀬商事（株）、三菱電機（株）の代理店となる（空調機器およびエレベーターの取り扱い開始）

1960

1960年 (昭和35年)	ボルボの販売開始
1961年 (昭和36年)	メルセデス・ベンツディーゼルエンジンの販売権獲得
1962年 (昭和37年)	従来より取り扱いのGM社系各車種につき、全日本販売権を獲得 シボレーの東北4県（青森、宮城、岩手、福島）における販売権獲得
1963年 (昭和38年)	梁瀬商事（株）を吸収合併、社名を（株）梁瀬に変更し、特殊総合商社として再発足（資本金3億2,000万円）
1965年 (昭和40年)	フォルクスワーゲンの配車・パーツセンター、横浜デポー、小牧デポーを開設 ⁹ 米国ブリグスアンドストラトン社製ガソリンエンジンの日本総代理店となる
1967年 (昭和42年)	アウディの販売開始
1968年 (昭和43年)	シボレーの中国5県（鳥取、島根、岡山、広島、山口）における販売権を新たに獲得
1969年 (昭和44年)	社名を（株）ヤナセに変更 シボレーの九州地区における販売権を新たに獲得



1970

1972年 (昭和47年)	イタリアのG.パティストーニ、フランスのアンドレ・ルドー・スポーツなど紳士・婦人用品の販売開始
1974年 (昭和49年)	メルセデス・ベンツの配車・パーツセンター、横浜ニューデポーを開設 ヤナセヨーロッパB.V.設立（資本金280,000ギルダー） プリンス、ボルボの取り扱い中止 オランダのフォスカンプ社製グリーンハウス（ガラス温室）および関連機器の日本総代理店となる 旧西ドイツコンチネンタル社との間にタイヤの一手輸入販売契約を締結
1976年 (昭和51年)	フォスカンプ社との技術援助契約締結、グリーンハウスの完全国産化実現
1977年 (昭和52年)	小牧デポー新工場完成 ヤナセオブアメリカINC.設立（資本金100,000ドル）
1978年 (昭和53年)	フランスのモラビト商品の輸入販売権を獲得

1980

1981年 (昭和56年)	いすゞ自動車（株）との間に同社製品の販売契約を締結、ピアッツァ・ネロの販売開始
1982年 (昭和57年)	GM社との間に日本における北米製全GM完成車の一手輸入販売契約を締結。従来のキャデラック、ビュイック、シボレーに加えてポンテアック、オールズモビルの販売再開
1983年 (昭和58年)	政府は貿易表彰制度を創設、初の対象者のひとりに梁瀬次郎社長が選ばれる ¹⁰  (提供：日本経済新聞社)
1984年 (昭和59年)	日産自動車（株）製フォルクスワーゲンサンタナの販売開始
1987年 (昭和62年)	メルセデス・ベンツの輸入権をウエスタン自動車（株）から日本法人へ移管 エーエムジー・ジャパン（株）設立（資本金6,000万円）、メルセデス・ベンツ AMGの販売開始
1988年 (昭和63年)	（株）ハイレード農園設立
1989年 (平成元年)	オールズモビルの販売中止 フォルクスワーゲン サンタナの販売中止

1990

1991年 (平成3年)	ドイツアラル社との間に自動車エンジンオイルの総輸入販売契約を締結
1992年 (平成4年)	フォルクスワーゲン、アウディの輸入販売中止
1993年 (平成5年)	オベルの一手輸入販売開始 （株）フランス・モーターズ設立（資本金3,000万円） ルノーの販売開始 ピアッツァ・ネロの販売中止 （株）ヤナセ石油販売設立（資本金8,000万円）
1994年 (平成6年)	
1996年 (平成8年)	新車累計販売台数100万台達成（1952年より） ¹¹ ヤナセサターン（株）設立（資本金3,000万円）、翌年よりサターンの販売開始 ビュイックの輸入販売中止
1997年 (平成9年)	サーブの一手輸入販売開始 ポンテアックの輸入販売中止



2000

2000年 (平成12年)	シボレー、オベル、メルセデス・ベンツAMGの輸入権を日本法人へ移管 スマートの販売開始
2001年 (平成13年)	アウディの販売再開 ルノー、サターンの販売中止 （株）ヤナセ大阪クライスラー設立（資本金3,000万円、のちの（株）ヤナセクライスラー）。クライスラー、ジープの販売開始
2002年 (平成14年)	梁瀬次郎会長が初代日本自動車殿堂入り （株）ヤナセと（株）ウエスタンコーポレーションが合併（資本金4億4,000万円） アウディジャパン（株）との合併会社ヤナセアウディ販売（株）設立（資本金7億5,500万円）
2003年 (平成15年)	キャデラック、サーブの輸入権を日本法人へ移管 第三者割当増資を実施し、経営基盤強化（資本金49億7,600万円） ヤナセ バイエールン モーターズ（株）設立（資本金2億円）、BMWの販売開始 日本最大級の輸入車中古車展示場ブランドスクエア横浜を開設 ¹² 
2004年 (平成16年)	梁瀬次郎名誉会長が米国自動車殿堂入り ¹³ （株）ヤナセグローバルモーターズ設立（資本金3,000万円） ヤナセ ヴィークル ワールド（株）設立（資本金1,000万円） 新車累計販売台数150万台達成（1952年より） フォルクスワーゲンの販売再開  (提供：日刊自動車新聞社)
2005年 (平成17年)	
2006年 (平成18年)	オベルの販売中止 ヤナセスカンジナビアモーターズ（株）設立（資本金9,000万円）、ボルボの販売再開 メルセデス・ベンツセンター 東京を開設
2007年 (平成19年)	ヤナセ バイエールン モーターズ福岡(株)設立(資本金1,000万円) アウディジャパンとのアウディ販売合併事業を終了 ヤナセ オートモーティブ（株）設立（資本金1億円）、アウディ販売事業を移管
2008年 (平成20年)	メルセデス・ベンツサーティファイドカーセンター／コーナーを全国に設置 第三者割当増資を実施し、自己資本を増強（資本金69億7,587万2,000円） （株）ヤナセクライスラーのクライスラー事業とヤナセスカンジナビアモーターズ（株）のボルボ事業を（株）ヤナセグローバルモーターズに事業統合

2010

2010年 (平成22年)	スマートの販売・アフターサービスをメルセデス・ベンツ販売店全店に拡大 （株）ヤナセグローバルモーターズがピーシーアイ（株）とサーブの販売店契約を締結
2011年 (平成23年)	（株）ヤナセオートパーツにBP事業を移管し、同社の商号を（株）ヤナセオートシステムズに変更
2012年 (平成24年)	メルセデス・ベンツ販売60周年を迎える サーブの販売中止 本社新社屋完成 ¹⁴ 
2013年 (平成25年)	「ヤナセ夜間・休日緊急サポートコールセンター」を開設
2014年 (平成26年)	（株）ヤナセオートシステムズのエリアセンター全国ネットワークが完成
2015年 (平成27年)	創立100周年記念式典・祝賀式を開催 ¹⁵ 2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー「実行委員会特別賞」を受賞 
2016年 (平成28年)	公益財団法人交通遺児育英会と日本赤十字社への支援活動により「紺綬褒状」を受章 「ヤナセ プレミアムカー レンタル」を開始
2017年 (平成29年)	伊藤忠商事（株）の連結子会社になる
2018年 (平成30年)	ヤナセグループ新車累計販売台数200万台を達成 「ヤナセ クラシックカー センター」を開設 ヤナセプレストオート（株）設立（資本金1,000万円）、ポルシェの販売開始
2020年 (令和2年)	（株）ジップの株式を取得し、オークション事業に参入 メルセデス・ベンツの新車累計販売台数100万台を達成

ヤナセはこれからも 全てのお客さまに感謝の思いをお伝えし お客さまとの絆をさらに深めていきます。

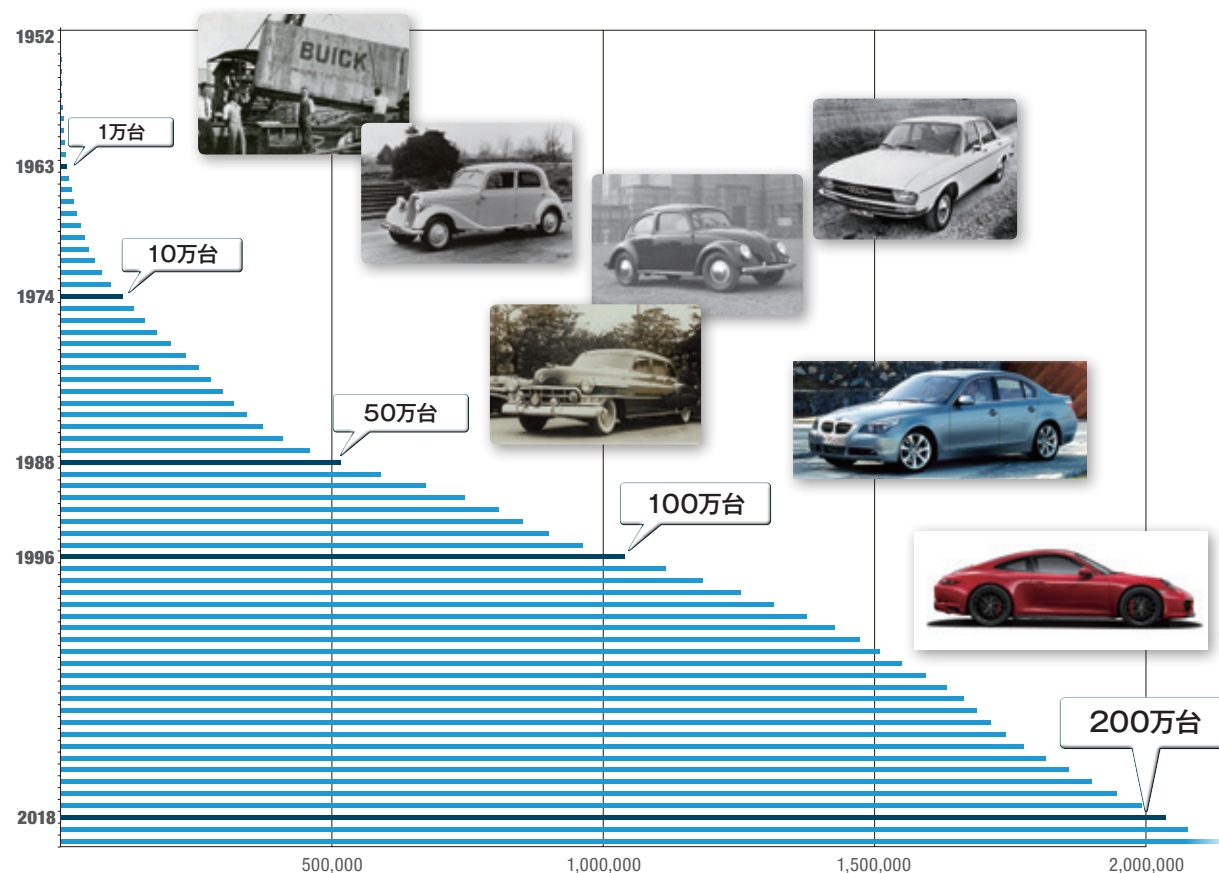
1915（大正4）年、梁瀬 長太郎は東京・日比谷に当社の前身である「梁瀬商会」を創業し、ビュイック、キャデラックの輸入販売を開始しました。当時、日本の自動車保有台数はわずか1,244台^{*1}。また、1920年には現在のヤナセ本社の所在地である東京・芝浦に修理工場を開設するなど、アフターサービス業にも注力しました。

第二次世界大戦後、自動車の輸入が禁止・制限されていた時代に、当社は自由化を見据えて全国にネットワークを展開。欧米の数々のブランドの輸入販売権を獲得しました。その後、輸入権はメーカー日本法人に移管して販売業に特化し、輸入車のマルチブランドディーラーとして、2018 年3月に新車累計販売200万台を達成しました^{*2}。

現在は、メルセデス・ベンツ、スマート、アウディ、BMW、フォルクスワーゲン、ポルシェ、キャデラック、シボレーの8ブランドの新車・中古車を取り扱い、全国に販売・サービス拠点を展開。個性豊かなプレミアム輸入車をお客さまにお届けしています。

^{*1} 国土交通省調べ

^{*2} 輸入自動車協会（現・日本自動車輸入組合：JAIA）が設立され、統計が整備された1952年以降の自社調べ



※本統計値は、輸入自動車協会（現・日本自動車輸入組合：JAIA）が設立され、統計が整備された1952年以降の自社調べによるものです。

社員メッセージ



ご来店いただいたお客さまに、
すてきなひとときをお過ごしいただけるよう、
心を込めておもてなしをします



ただクルマを整備するのではなく、
お客さまに感動していただけるサービスをご提供したい。
そのために日々、技術力の向上に努めます



日本中の道路でたくさんの
ヤナセステッカーに出会えるよう、
お客さまとの絆を大切に育んでいきます



お客さまが素晴らしい一台に出会い、
豊かなカーライフを送っていただけるよう、
精いっぱいサポートをさせていただきます

クルマはつくらない。クルマのある人生をつくっている。



全国の仲間と共に、
新しい時代のヤナセをつくっていきます



「対応力」、「技術力」、「おもてなし精神」で、
一人でも多くのお客さまに
ヤナセファンになっていただけるよう努力します



お客さまの思い出が込められた
大切な一台は、私たちヤナセが守ります



大切なクルマを安心してお任せいただけるよう、
最高峰の整備士資格を生かして、
これからも技術を磨き続けます

クルマはつukらない。クルマのある人生をつくっている。 